

用水組合	取水口	反灌別荘	灌溉町村	記事
南保外二箇町村組合 泊外一箇町村組合	下新川郡南保村小川橋脇 下新川郡南保村小川橋脇	一〇〇町 一〇〇町	南保、五ヶ庄、泊 泊、五ヶ庄	右岸 右岸

其ノ他流木、漁業、舟筏等ニハ特ニ記スモノナシ。許可水力地點トシテハ北陸共營電氣株式會社ノ一箇地點及山崎

小川水力地點表

順位(一)ヲ附セルハ許可地點ト關係アリ
水量落差ニ*ヲ附セルハ概定數ナリ

順位	河川	雷地點	取入口	放水口	水量	落差	馬力數	巨水路	流域面積	發電能率	年平均馬力數	等級
(八五八)	小川	番外	富山縣下新川郡南保村 嵯谷相又川落合	同 郡南保村 嵯谷	湯水 * 三七 低水 * 五九 平水 * 八四	* 二三四	九六一 一五三二 二、一八二	一五六〇	一八五	一〇〇〇 九五二	六一 一四五六	甲

水電株式會社ノ一地點アリ
四水力地點 小川流域内ニ於ケル水力地點トシテハ南保村大字嵯谷地内ニ於テ取入口ヲ有シ其ノ使用馬力數湯水量ニテ九六一馬力ヲ有スルモノアリ

水力地點ノ説明
順位八五八 本地點ハ相又川落合ニ於テ取入口ヲ設ケ

右岸ニ導水シ大字嵯谷字荒砥地内ニ於テ本川ニ放水ス而シテ水路ハ全部開渠ニシテ延長約一、五八〇間ナリ

本地點附近ニテハ本川ニ沿ヒテ良好ナル里道アリテ交通運輸ノ便惡シカラスト雖放水口附近ニ面積約一〇〇町歩ヲ灌溉スル用水取入口アリテ水利使用上相當考慮ヲ要スルモノナラン。電力供給地トシテハ泊町方面ニ送電ス

ルカ或ハ自家用工業等ニ消化ノ外途ナカルヘシ。本地點ハ百馬力以下ノ小川電氣株式會社許可地點ニ關係アリ

第十一章 黒部川水系

第一節 概説

一、流域

全面積

内 山地 五一〇方里
平地 四四一方里
六九方里

利用シ得ヘキ面積 三七九方里

地勢 本流域ハ越中國ノ東部ニ位シ東ハ雄渾其ノ比ヲ見サル飛驒山脈南ヨリ北ニ蜿蜒シテ遙ニ姫川及信濃川支流高瀬川ノ流域ニ臨ミ西ハ之カ前山タル立山山系ヲ隔テテ常願寺川、早月川及片貝川等ノ諸流域ニ接シ南ハ鷲ヶ嶽中ノ侯嶽及北ノ侯嶽等ヲ連ネテ神通川水系双六川ノ流域ト界ス。地形狹長ニシテ稍半月形ヲナシ延長約二一里、西ニ立山山系ヲ抱キ帯ノ如ク南ヨリ北ニ延ヒテ終ニ富山灣ニ至ル。流域ノ周縁分水嶺ハ何レモ約八、〇〇〇尺乃至一〇、〇〇〇尺ノ障壁ヲ立テ峻峻極リナク、峰頭水涯共ニ奇巖峭壁削立シ互ニ相逼リテ危峽深壑ノ間ニ一大峽谷ヲ縱走ス、黒部川本流此ノ間ヲ縫ヒ他ニ祖母谷川、黒蘆川、小黒部川等ト共ニ黒部川水系ヲ集成ス

地質 地質ハ主トシテ片麻岩及古生層ヲ貫ケル花崗岩水源部ヨリ長ク本川ニ沿ヒテ露レ北方愛本村字音澤附近迄擴ル就中白馬嶽、翁ヶ岳及附近ハ玢岩ヲ露出シ仙人、與鐘

釣一體ニハ後期噴出ノ安山岩之ニ續キテ東鐘釣ヨリ柳保

附近ニ石英粗面岩等ノ迸發スルアリ其ノ他黒蘆川流域ニハ古生層ヲ見ル、本川下流部ハ音澤ノ北ニ奇リテ第三紀層ノ丘陵部ニ遇ヒ須臾ニシテ山間部ヲ脱シテ第四紀層ノ平野ニ出テ富山灣ニ至ル。域内所々温泉湧出シ就中祖母谷、黒蘆鐘釣、小黒部湯等ハ里人ノ間ニ周知セラル

林野狀態 本流域ノ約九割ヲ占ムル山地ハ第三紀層ノ愛本村字内山附近ヨリ始リ次第ニ上流部ニ入りテ愈樹木ヲ加ヘ針葉樹ニ於テハ杉、松、扁柏、榎等ヲ主トシ闊葉樹ニテハ山毛櫸、檜其ノ他雜木多ク繁茂ス殊ニ山林ノ大部ヲ占ムルハ國有林ニシテ黒部、立山、黒部谷割等ノ國有林班ニ分レ概略面積三八七九方里ヲ算シ巨木老樹鬱蒼トシテ茂リ樹冠密鎖シ白晝猶暗ク古來斧鉞ノ音ヲ聞カサル幽境ヲナス。其ノ他支流祖母谷川、黒蘆川等ニテハ林相少シク之ニ劣ルモノアリト雖概シテ森林狀態良好ニシテ良材ニ富ム然レトモ交通不便ニシテ里人モ其ノ足跡ヲ絶チ天然ノ資源モ之カ利用ノ域ニ達セサルモノアリ

二、河川狀況 本流域内ノ最大河川ハ黒部川本流ニシテ飛驒山脈ト立山山系トニ挾マレタル一大峽流ヲナシ蜿蜒北流スルコト約八里餘、愛本村大字音澤字與鐘地内ニテ支

流祖母谷川及小黒部川ヲ容レ更ニ下ルコト約三五里ニシテ黒部川ヲ合セ下流愛本ヲ過キテ沖積層ノ平野ニ開口ス域内ノ河川概ネ兩岸削ルカ如ク其ノ流ルル處概シテ花崗岩若ハ片麻岩ニシテ兩岸ノ峻嶺高ク空ニ聳エ山脚水涯幾何ノ平地ヲ存セス河床又岩盤露出シ巨巖怪石相重疊シテ屢激流急湍ヲナス

河床勾配ハ何レモ急ニシテ流ヲ遡リテハ更ニ其ノ度ヲ加ヘ就中祖母谷川ヲ最急トシ黒部川黒部川之ニ次ク利用シ得ヘキ範圍 黒部川本流ニ於テ山間部約一〇里

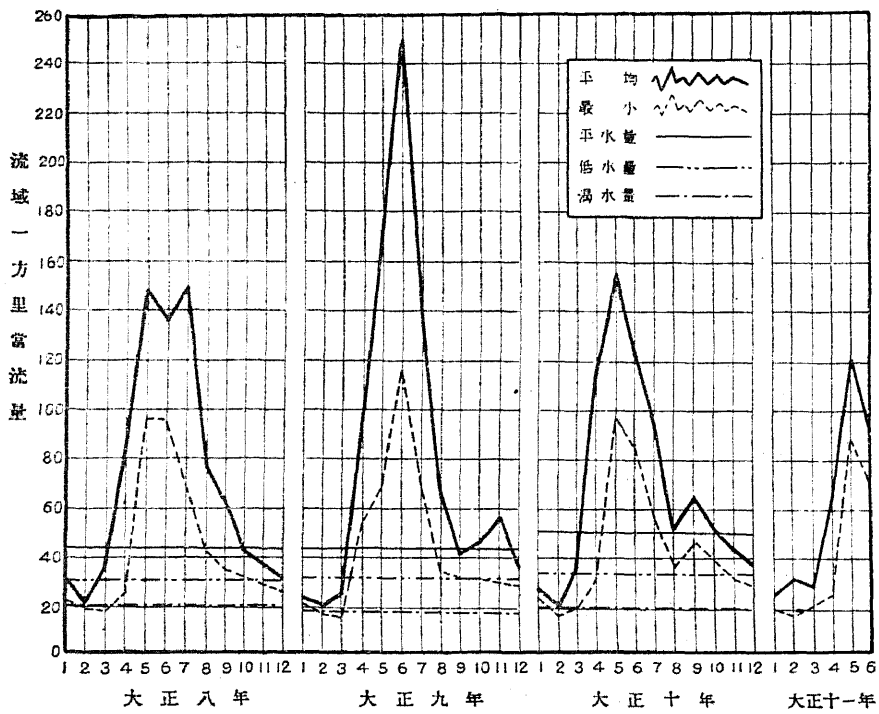
黒部川水系流量表

順位	舊順位	河川	測水所	面積	流域				流域一方里當流量					
					年次	最大	平水	低水	最小	最大	平水	低水	最小	
二二五	—	黒部川	富山縣下新川郡愛本村音澤ヤツソ	三九七二	大正八年 三九八〇〇	一七五〇	一三三〇	八三三	七五〇	一〇〇〇	四〇一	三三〇	二二七	一九九
二二六	—	黒部川	富山縣下新川郡愛本村音澤黒部	七四七	大正八年 二二五〇	一三〇〇	一〇〇〇	七五〇	六七二	一五〇〇	四二八	三三五	二八三	一九九
					大正九年 二二五〇	一三〇〇	一〇〇〇	七五〇	六七二	一五〇〇	四二八	三三五	二八三	一九九
					大正十年 二二五〇	一三〇〇	一〇〇〇	七五〇	六七二	一五〇〇	四二八	三三五	二八三	一九九
					大正十一年 二二五〇	一三〇〇	一〇〇〇	七五〇	六七二	一五〇〇	四二八	三三五	二八三	一九九
					平均	一三〇〇	一〇〇〇	七五〇	六七二	一五〇〇	四二八	三三五	二八三	一九九

祖母谷川ハ約一里、黒部川ニアリテハ其ノ全川約二里ノ間トス但シ何レモ沿岸急峻ナル爲交通ノ便ニ乏シキヲ遺憾トス

流量ノ變化 本水系河川流量ノ變化ヲ見ルニ概シテ晩春ヨリ初夏ノ間ヲ増水期トシ冬季一、二月及初春三月ヲ減水期トナス其ノ他七月ニ相當増水スルコトアリ要之ニ冬季ハ降雪多量ナリト雖寒氣一般ニ強キ爲積雪ハ直ニ河川水量ヲ増サス却ツテ此ノ期ヲ通シテ河水ノ冬枯ヲ生シ漸ク晩春ニ至リテ現レ此處ニ増水期ヲ生ス其ノ他流域ハ一

黒部川水系黒部川(ヤツソ)測水所
各月平均及最小流量圖



般ニ兩岸山勢急ナル爲豪雨期ニハ急轉直下急激ノ出水ヲ屢惹起スルコトアリ然レトモ域内ノ林野状態良好ナル爲流域一方里當ノ濁水量頗ル豊富ニシテ約二〇個内外ニ上リ支流黒部川ニテハ更ニ數個ヲ加フ

三、氣象 黒部川流域内ノ氣温ハ水源地方ナル鐘釣及本川中流部ナル宇奈月ニ於ケル短期観測ノ結果ニヨリ推定スルニ水源地方ハ本川中流部ヨリ約二五度低ク沿海地方ナル魚津ニ於ケル観測ノ結果ニ比スレハ約四五度少シ、是レ沿海地方ハ直接海洋風ノ影響ヲ受ケ氣温ノ緩和セララルニ反シ水源地方ハ寒冷ナル氣風ニ觸ルコト大ナルニ因スヘシ

域内降水量ノ季節的變化ヲ見ルニ一箇年ヲ通シ秋季九月ニ最降水量多シ是レ蓋シ當地方ニ於ケル秋雨期ニ屬シテ強烈ナル秋雨屢來襲スル結果ナラン十月ニ至レハ其ノ量稍減少シ晩秋十一月ヨリ冬季一月ニ亘リ再び増加シ其ノ量又甚タ少カラス、以後不規則ナル減少ヲナシ春季五月最少トナリ、八月之ニ次ク、夏季六月及七月所謂梅雨期ニ入り降雨連日ニ亘ル爲又幾分其ノ量ヲ加フ

第二節 黒部川、ヤタソ谷

一、流域 地勢 本川流域ハ黒部川水系流域ノ大部ヲ占メ東方ハ飛驒山脈ノ末勢南ヨリ北ニ蜿蜒シ東部障壁ヲナシ西方ハ立山山系ニ屬スル北ノ俣嶽藥師嶽、立山、猫又山等ノ連峰峭立シテ西縁分水嶺ヲ形成ス。其ノ範圍ハ上、中、下三新川郡ノ各東半分ニ跨リ域内山嶽重疊シ人煙稀薄ナレトモ愛本ヲ過キテ平原部ニ出ツレハ沖積平野扇ノ如ク廣リ土地肥沃ニシテ田園遠ク拓カル

地質 片麻岩及花崗岩ヲ主トシ中流部以下ニ於テ安山岩石英粗面岩及玢岩ヲ見下流ニ於テ第三紀層及第四紀層ニ終ル

林野状態 甚タ良好ニシテ殆ト域内全土ヲ掩ヘル國有林ハ其ノ範圍ノ廣キコト森々タル巨木老樹ノ密生セルコト幽邃絶塵タル等實ニ本邦國有林ノ白眉ナルヘシ

二、河川狀況 越中ノ東南隅ニ源ヲ發セル本川ハ途ニ幾多ノ溪流澗水ヲ集メテ右曲左折シ蜿蜒數里音澤字與鐘地内ニテ右ニ支流祖母谷川ヲ入ル、本流此處ニ至ル間僅ニ針ノ木谷合流點附近ヲ除クノ外沿岸峻嶒水涯ニ峙テ峰頭互ニ狹迫シ奇壁斷崖削ルカ如ク水邊荆棘ヲ生シ或ハ岩骨禿

膚露出シ水ニ沿フテ一條ノ袖道モ通セズ、禽獸又影ヲ潛ム世ニ所謂黒部ノ大峽谷即チ是ナリ。河床勾配又瀧ノ如ク激流奔放極リナク就中、立山ノ麓御山谷澤ノ水ヲ容レ黒部別山ノ裾ヲ洗ヒ仙人山ノ麓ヲ繞リテ殊ニ甚シキヲ見ル、祖母谷川ヲ合セテヨリ山勢稍衰フルモ須臾ニシテ兩岸絶壁再ヒ迫リ本川ノ咽喉部ヲ形成ス俗稱之ヲ猿飛ノ嶮トナシ

綠水巨巖ニ奔激シテ白雪ヲ吐ク、之ヲ過キテ間モナク左ニ小黒部川ヲ吞ミ東西兩鐘釣ノ山麓ヲ縫ヒ突阪山ノ北麓愛本村大字五味平ニ於テ源ヲ乘鞍嶽ニ發スル黒部川ヲ合セ水量著シク肥エ河幅漸ク廣マリ所々礫洲ヲ生ス、字愛本ニ至リ右岸ニ於ケル「ヤタソ」谷ヲ入レ、間モナク山間部ヲ脱シ、水流急ニ平野ニ亂レ數多ノ溝渠ヲ分岐シ遂ニ海ニ注ク

利用シ得ヘキ範圍 本川流域ハ山嶽錯雜シ古來人跡未到ノ地多ク然モ水利使用上最有望ナルハ河川勾配極メテ急ナル是等山間部ニシテ早晚下流地方ヨリ漸次利用セラ

ルヘキモノト云フヘク其ノ範圍ヲ擧クレハ上流ハ富山縣中新川郡立山村地内御山谷落合ヨリ下流約一〇里及山間部ヲ出テ更ニ下流約一里迄ノ間ニシテ其ノ落差約三、九〇〇尺ナリトス

流量ノ變化 本川ノ増水期ハ春季及夏季ヲ通シ即チ五

六、七月トシ就中六月ヲ最大トス減水期ハ冬季一、二月及初春三月ニシテ二月ヲ最少トス而シテ流域一方里當湧水量ノ豊富ナルコト他ニ多ク其ノ類ヲ見ス。蓋シ晩春ノ増水ハ冬季ニ降雪多ケレトモ直ニ之カ河水トナリテ流下セス春暖ト晩春ノ降雨ト共ニ融解流出スルコト之カ因ヲナシ而シテ水源地方ノ高峰ニハ盛夏猶殘雪ヲ見深山ノ溪間ニハ千古ノ雪ヲ埋ムルハ湧水量ノ豊富ナル主因ヲナス但シ本川ヲ通シテ冬季ノ湧水歩合ハ上流ニ至リテ大ナルカ如

灌溉用水調

用水名稱	取入口	灌溉反別	灌溉町村	記事
愛本新用水普通水利組合	下新川郡愛本村大字音澤地内	二八六	愛本、舟見及野中ノ一部	右岸
野中村外三箇町村組用水路	下新川郡愛本村大字中ノ口地内	六〇一	舟見、野中、山崎、五ヶ庄	同
下山用水路	四千石用水ノ直下	八一八	新屋、野中、大家庄、五ヶ庄、泊	同
桐山用水路	下新川郡新屋村大字浦山新村ノ南端	八一	新屋、桐山、横山、入善	同
内山村外五箇村宮野用水組合	下新川郡下立村大字中ノ口愛本橋脇	二六八	内山、下立、浦山、若栗、前澤、田家	左岸
三箇箇用水路	下新川郡下立村大字中ノ口上愛本橋下流五〇間	五一〇	下立、浦山、前澤	同

キ傾向アルハ本川利用上特ニ考慮ノ要アラン 其ノ他概シテ急峻ナル山地ヲ以テ埋メラルルカ爲平坦ナル發電用地ヲ見出シ難キト將來工事著手ノ際土棄場選定ニ相當考慮ヲ要スヘキモノアルヘシ

三、治水及水利事業 本川沿岸ニハ殆ト耕地ヲ見ス唯下流愛本村附近ヨリ始テ灌溉關係ノ繁キヲ見ル今本川水利使用上直接間接ニ關係ヲ有スル灌溉用水ヲ列舉セハ大略左ノ如シ

域内ニハ數箇所ノ温泉アリテ悪水ヲ放流スレトモ其ノ量微少ニシテ河水利用上殆ト影響ナキカ如シ 流木ハ極メテ少量ノ木呂ヲ流下スルノミ。漁收ニハ鮭鱒等アレトモ盛ナラス

支流黒部川ノ上流ニ大黒嶺山アリ銀、銅等ヲ産出シ田中銀之助氏ノ經營ニ係ルモノアルモ河川水質ニ影響少シ 本川下流ハ河川法ノ準用ヲ受ケ其ノ區域ハ左岸下新川郡下立村大字中ノ口字愛本官林地、右岸同郡愛本村大字舟

見字官林地愛本橋以下海ニ至ル間トス
 域内水力地點ハ略之カ使用ヲ許可セラレ上流部ニ多少
 利用ノ餘地ヲ貽スノミ其ノ他山間部ヲ脱シ平野ニ入ル附
 近灌溉用水路ヲ利用シ相當發電ノ方法ヲ講究スルハ又緊
 要事ナラストセス

四、水力地點 黒部川流域内ニ於ケル水力地點ノ分布狀
 態ハ上流立山村御山谷落合ヨリ愛本村大字中ノ口地先迄
 ノ範圍内ニシテ湧水量ヲ標準トシ一、〇〇〇馬力以上ノ地

點數五箇所アリ其ノ發生馬力數湧水量ニテ一四〇、〇八四、
 低水ニテ二二九、一九七、平水ニテ三二五、六八一馬力ナリ内
 三地點ハ東洋輕銀株式會社ノ許可地點ニ關係シ其使用馬
 力數最大九五、七八九ヲ有ス此ノ外選定水力地點ニ關係無
 キモノニシテ許可ニ屬スルモノ音澤水力電氣株式會社ノ
 一地點及三重沃度製造株式會社ノ二地點アリ其ノ使用馬
 力數最大八、二七九ヲ有ス。前記許可地點ハ何レモ工事未
 著手ナリ

黒部川水力地點表

順位ニ()ヲ附セルハ許可地點ト關係アリ
 落差ニ*ヲ附セルハ概定數ナリ

順位	河川	番地點	取入口	放水口	水量	落差	馬力數	巨水長路	流域面積	能發電率	年平均馬力數	等級
八五九	黒部川	一	富山縣中新川郡立山村御山谷落合	同 郡立山村 榊小屋澤落合	湧水 二二三 低水 三六四 平水 五一八	一、〇〇〇	二七、二三八	五六二〇	一一三五	100.0 九五.二 八四.六	二七、三三八 四三、三二一 五三、五〇八	甲
八六〇	同	二	富山縣中新川郡立山村榊小屋澤落合	下新川郡内山村 祖母谷川落合	湧水 三三三 低水 五二九 平水 七五一	一、二二〇	四三、七四一 七一、六三七 一〇一、七〇〇	八八九〇	一六四七	100.0 九五.二 八四.六	四三、七四一 六八、一九八 八六、〇三六	甲
(八六一)	同	三	富山縣下新川郡愛本村音澤 奧鐘	同 郡愛本村 音澤 猫又	湧水 五〇七 低水 八三〇 平水 一、二七九	五六一	三一、五七一 五一、六八五 七三、四一八	三三三〇	三五八五	100.0 九五.二 八四.六	三三、五七一 四九、一〇四 六二、一一二	甲
(八六二)	同	四	富山縣下新川郡愛本村音澤 猫又	同 音澤 愛本村 五味平	湧水 五六一 低水 九二〇 平水 一、三〇七	二七四	一七、〇九三 二七、九八一 三九、七五一	二、四三〇	二八六七	100.0 九五.二 八四.六	一七、〇九三 二六、六八八 三三、七二九	甲

(八六三)	同	五	富山縣下新川郡愛本村音澤 五味平	同 音澤 愛本村 中島	湧水 七五二 低水 一、二三一 平水 一、七四九	二四五	三三、四五〇 四七、五六四	四、〇〇〇	三六三五	100.0 九五.二 八四.六	二〇、四五二 三三、八四四 四〇、三三九	甲
-------	---	---	------------------	-------------	--------------------------------	-----	------------------	-------	------	-----------------------	----------------------------	---

水力地點ノ説明

順位八五九 御山谷落合ニテ右岸ニ取入レ隧道五、六四〇間開渠一八〇間ニヨリ榊小屋澤落合ニ於テ本流ニ放水スルモノトス

順位八六〇 前地點放水口ニ於テ取入レ隧道四、八九〇間ニヨリ左岸ニ導水シテ祖母谷落合ニ於テ本流ニ放水セシム

順位八六一 愛本村奥鐘黒部谷附近ニテ取入レ隧道三、三四〇間ニヨリ右岸ニ導水シテ同村猫又谷落合附近ニ於テ本流ニ放水スルモノトス

順位八六二 前地點放水口ノ下流猫又谷落合附近ニ於テ取入レ隧道一、六四〇間開渠七八〇間ニヨリ字五味平地内黒蘆落合附近ニ於テ本流ニ發電放水スルモノトス

順位八六三 黒蘆川落合ヨリ取入レ隧道二、九八〇間開渠一、〇二〇間ニヨリ右岸ニ導水シテ大字音澤字中島ニテ本流ニ放水スルモノトス

前記諸地點中順位八五九及八六〇ヲ除キ附近ニハ黒部川本流ニ沿フテ比較的良好ナル山道存スト雖路幅狹ク坂路ニシテ殊ニ險惡ナル箇所アリ工用材料其ノ他機械運搬等ノ困難アリ

灌溉用水路ハ下流字音澤附近ニアリ多少考慮ヲ要スヘシ。流水アレトモ極メテ少量ナリ。本流域内積雪量多キヲ以テ春冬ノ候ニ於ケル雪崩除ケ等相當設備ノ要アルヘシ。電力ハ遠ク京阪又ハ名古屋方面ニ送電ノ外ナカラン選定五箇地點中順位八五九及八六〇ヲ除キテ他ハ皆許可地點ニ關係アリ

第三節 祖母谷川

一、流域 地勢 本川流域ノ東方ハ飛驒山脈中ノ高峰唐松山、嶺ヶ岳及白馬嶽ヲ連ネテ姫川流域ニ接シ北西ハ白馬嶽ヨリ出テテ名劍山ニ至ル一脈ニヨリ黒蘆川流域、西南ハ唐松山ヨリ餓鬼山奥鐘山ニ絡ル嶺續キニテ黒部川本流ト

別タル。地形略三角形ヲナシ海拔一〇、〇〇〇尺内外ノ東邊連山ヨリ西方黒部川本流ヘノ落合ニ向ツテ急傾斜ヲ以テ下リ地勢頗ル峻峻ヲ極ム。面積約三七方里ヲ占ム

地質 北部ハ白色勝ノ砂岩ニシテ白馬嶽、鎗ヶ岳一體ハ之カ爲遠望スレハ千古ノ雪ヲ戴クノ觀アリ東南部ハ花崗岩ニシテ西北部ハ安山岩ヨリ成ル

林野状態 域内全部ハ國有林ニ掩ハルレトモ所々畦地ニシテ樹木ナキ所及芝生地アリ樹種ハ主トシテ混滑林ニ屬ス

二、河川狀況 本川ハ源ヲ大蓮華嶽、白馬嶽、鎗ヶ岳ニ發セル清水谷、西谷、夜澤等ノ氷ヲ集メ南西ニ向ツテ下リ祖母谷温泉附近ニ於テ唐松嶽、奥鐘山麓ヲ繞リ流下一里弱ニシテ黒部川本流ニ合ス、祖母谷温泉附近ノ合流點ニテ山勢稍衰フルモノアレトモ之ヲ下レハ右岸ニ當リテ名劔山河岸ニ

祖母谷川水力地點表

順位	河川	番地點	取入口	放水口	水量	落差	馬力數	巨水長路	面積	能發電	年平均馬力數	等級
(八六四)	祖母谷川	一	富山縣下新川郡愛本村音澤 祖母谷	同 郡 愛本村音澤 奥鐘	湯水 六六 低水 一〇九 平水 一五四	* 五五〇	四、〇二九 六、六五四 九四〇二	一、二八〇	三三六	一〇〇〇 九五二 八四六	四〇二九 六、三三五 七、九五四	甲

順位ニ()ヲ附セルハ許可地點ト關係アリ
落差ニ*ヲ附セルハ概定數ナリ

時チ危崖斷壁削レルカ如キモノアリ、河床又之ニ伴ヒテ怪石露出起伏シ流水急ナリ

利用シ得ヘキ範圍 利用シ得ヘキ範圍ハ下新川郡愛本村字音澤祖母谷温泉ヨリ下流約一里ノ間ニシテ其ノ落差約六〇〇尺ナリトス

流量ノ變化 流量ノ變化ハ略前節黒部川本流ト大差ナク流域前者ニ比シ狹ク地勢又之ニ劣ラス急峻ナルヲ以テ一層迅速ナル出水ヲ見ルコトアラン

三、治水及水利事業 本川沿岸ニ耕地ナケレハ灌溉ノ要ヲ見ス。沿川ノ水力地點ハ既ニ東洋輕銀株式會社ニ許可セラレ餘スモノナシ

四、水力地點 祖母谷流域内ニ於ケル選定水力地點ハ湯水量ヲ標準トシ一、〇〇〇馬力以上ヲ有スル一箇地點ニシテ左ノ如シ

水力地點ノ説明

順位八六四 愛本村字音澤祖父谷及祖母谷ノ合流點ヨリ取入レ祖母谷落合附近ニ於テ黒部川本流ニ放水セシム、該地點附近ニ於テ一條ノ山道存スト雖道幅狭ク且坂路ニシテ殊ニ峻惡ナリ。灌溉用水竝流木等ノ關係ナシ。本地點ハ選定後東洋輕銀株式會社ニ許可セラル

第四節 黒蘆川

一、流域 地勢 本流域ハ祖母谷川流域ノ北ニ接シ東ハ飛驒山脈ノ末勢ニテ姫川流域ニ界シ東北端ナル犬ヶ嶽ヨリ起リ定倉山、越道峠、猪頭山、瘤杉山等ノ連脈ニヨリ北ニ小川流域ト隔テ西ニ黒部川流域トニ分タル。面積約七五方里ヲ有シ概シテ東ヨリ西南ニ向ツテ急傾斜ス

地質 古生層ヲ基盤トシ北及西縁ノ山脈ハ古期之ヲ貫キテ噴出セル花崗岩ヨリ成リ東南部白馬嶽小蓮華山一體ハ中世期ニ迸發セル玢岩中部ハ後期ノ迸發岩タル石英粗面岩ヨリ成リ所々蛇紋岩ノ散在セルヲ見ル

林野状態 域内ハ黒部奥山國有林其ノ大部ヲ掩ヘトモ支流柳俣谷ニテハ概シテ河岸崩レ畦地多ク森林状態稍劣ル、樹種ノ多クハ潤葉樹ニ屬シ山毛榉、檜其ノ他雜木等ニシ

テ針葉樹ニ乏シ

二、河川狀況 本川ハ上流ニ於テ二支流ニ分レ一ハ北境犬ヶ嶽ニ端ヲ發シテ南流スルモノニシテ之ヲ北又谷ト稱シ他ハ東南隅ナル白馬嶽ノ北麓ヨリ出テテ西スルモノニテ之ヲ柳又谷トナス。二水ハ猪頭山ノ南麓ニテ合流シ黒蘆川本流トナリ下ルコト約二里黒部川本流ニ注クノ間兩岸山勢急峻ニシテ段地ヲ貽サス斷崖絶壁ノ箇所尠カラズ河床又巨岩怪石隨所ニ突出シ勾配急ニシテ激湍ヲナス

利用シ得ヘキ範圍 支流北又谷川ニ於テ柳俣谷落合ヨリ上流約一里其ノ落差約三九〇尺及本川ニ於テハ同上合流點ヨリ下流約二里即チ全川ニ亘リ其ノ間總落差約八六〇尺ナリトス

流量ノ變化 流量ノ變化ハ大略黒部川本流ト類似シ増水期ハ幾分前者ニ比シテ先タチ流域一方里當ノ流量ハ著シク豊富ナリ、蓋シ流域前者ニ比シテ海岸ニ近ク氣温割合ニ高ク降雨量ノ比較的多量ナル爲ナラン

三、治水及水利事業 本川ノ流水ハ秋季ヨリ初冬ノ間之ヲ認ムレトモ其ノ數僅少ナリ選定水力地點ノ一ハ東洋輕銀株式會社ニ許可セラレ他ニ一地點ヲ餘スノミ

四、水力地點 黒蘆川流域内ニ於ケル水力地點ノ分布狀

態ハ上流北又谷及越道落合ヨリ下流大字音澤字黒薙迄ノ 二箇所ヲ算フヘク其ノ發生馬力數渴水ニテ一七、一七九、低
範圍内ニシテ渴水量ヲ標準トシ一、〇〇〇馬力以上ノ地點 水ニテ二三、三九一、平水ニテ三一、七三四馬力ヲ有ス

黒薙川水力地點表

順位ニ()ヲ附セルハ許可地點ト關係アリ
落差ニ*ヲ附セルハ概定數ナリ

順位	河川	番地點	取入口	放水口	水量	落差	馬力數	亘水長踏	面流域積	能發電率	年平均馬力數	等級
八六五	黒薙川 (北又谷)	一	富山縣下新川郡愛本村 越道落合	同 郡 愛本村 音澤 柳又谷落合	渴水 六九 低水 九四 平水 一一五	* 三四〇	二、六〇四 三、五四八 四、三四〇	二、〇一〇	二、七二	一〇〇〇 九六八 八七二	二、六〇四 三、四三四 三、七八〇	甲
(八六六)	同	二	富山縣下新川郡愛本村 音澤 黒薙井頭	同 郡 愛本村 音澤 黒薙	渴水 一六六 低水 二二六 平水 三二二	* 七九一	一四、五七五 一九、八四三 二七、三九四	三、八一〇	六、五七	一〇〇〇 九六八 八七二	一四、五七五 一九、二〇八 二三、八六〇	甲

水力地點ノ説明

順位八六五 黒薙川ノ上流北又谷及越道落合ヨリ取入
レ柳俣谷落合附近ニ於テ黒薙川ニ放水スルモノトス
順位八六六 前地點ノ下流約二町ノ處ニ取入口ヲ設ケ
左岸ニ導水シテ黒薙川落合附近ニ於テ同川ニ放水スルモ
ノトス

用水關係ナシ。 域内ハ降雪量多キ爲雪崩除ケ等相當設備
ノ要アルヘシ

第十二章 片貝川水系

一、流域

全面積

内 山地

平地

一三、六方里

一一、一方里

二、五方里

八、九方里

前記諸地點間ニハ高低幅員共不規則ナル黒薙温泉道一
條アルノミニシテ同温泉ヨリ上流ハ道幅狹キ所謂山道ニ
シテ交通運搬ノ便ヲ缺ク。 流木多少アレトモ其ノ他灌漑

利用シ得ヘキ面積